

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 沖縄県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	北部病院	2
-	中部病院	3
-	南部医療センター・こども医療センター	4
-	宮古病院	5
-	八重山病院	6
-	精和病院	7
沖縄県離島医療組合	久米島病院	8

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 北部病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,273 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感へ災地		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	325	65.5	64.2	59.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	327	65.1	63.8	58.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.3	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	912,192,057	
標準財政規模(千円)	404,706,530	
財政力指数	0.35962	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	25.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,717,184			
1 経常収益	8,666,889			
(1) 医業収益	6,301,112			
(うち修正医業収益)	6,166,043			
入院収益	4,702,659			
外来収益	1,358,327			
診療収入計	6,060,986			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	240,126			
(うち他会計負担金)	135,069			
(2) 医業外収益	2,365,777			
(うち国・都道府県補助金)	1,305,454			
(うち他会計補助・負担金)	575,442			
(うち長期前受金戻入)	251,478			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	50,295			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,422,627			
2 経常費用	7,400,123			
(1) 医業費用	7,169,134			
職員給与費	4,602,878	73.0	59.4	59.0
材料費	1,002,958	15.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	424,738	6.7	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	566,980	9.0	11.8	11.2
減価償却費	346,594	5.5	8.7	8.6
経費	1,174,304	18.6	22.1	21.3
(うち委託料)	668,381	10.6	11.7	11.6
研究研修費	20,398			
資産減耗費	22,002			
(2) 医業外費用	230,989			
(うち支払利息)	2,151	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	22,504			
損益	1,266,766			
純損益	1,294,557			
累積欠損金	202,736			
経常収支比率	117.1		103.3	104.8
医業収支比率	87.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	86.0		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	8.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	107.5		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,949,753
1 固定資産	44,220,585
(1) 有形固定資産	42,834,248
(2) 無形固定資産	27,440
(3) 投資その他の資産	1,358,897
2 流動資産	34,729,168
(1) 現金及び預金	19,332,004
(2) 未収金及び未収収益	15,438,000
(3) 貸倒引当金( )	883,444
(4) 貯蔵品	826,541
3 繰延資産	-
負債合計	66,804,852
1 固定負債	39,175,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,012,208
(2) その他の企業債	822,950
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,000,000
(6) 引当金	7,308,651
(7) 一ス債務	31,782
2 流動負債	11,397,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,019,840
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,762,824
(6) リ一ス債務	44,999
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,153,131
(9) 前受金及び前受収益	926
3 繰延収益	16,232,179
(1) 長期前受金	51,697,326
(2) 長期前受金収益化累計額( )	35,465,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	12,144,901
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	10,266,316
(1) 資本剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	3,896,394
負債・資本合計	78,949,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	710,511	710,511
資本勘定繰入	110,282	110,282
計	820,793	820,793

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 中部病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,583 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	41	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	555	76.6	76.1	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	559	76.1	75.6	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.2	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	912,192,057	
標準財政規模(千円)	404,706,530	
財政力指数	0.35962	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	25.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,466,540			
1 経常収益	20,303,059			
(1) 医業収益	15,895,764			
(うち修正医業収益)	15,651,065			
入院収益	11,433,735			
外来収益	4,040,210			
診療収入計	15,473,945			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	421,819			
(うち他会計負担金)	244,699			
(2) 医業外収益	4,407,295			
(うち国・都道府県補助金)	2,574,075			
(うち他会計補助・負担金)	922,815			
(うち長期前受金戻入)	458,549			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	163,481			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,533,617			
2 経常費用	19,403,689			
(1) 医業費用	18,600,135			
職員給与費	10,616,201	66.8	59.4	52.8
材料費	4,147,482	26.1	26.1	31.5
(うち薬品費)	2,081,472	13.1	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,955,552	12.3	11.8	13.9
減価償却費	588,918	3.7	8.7	7.7
経費	3,141,135	19.8	22.1	18.0
(うち委託料)	1,824,079	11.5	11.7	10.7
研究研修費	61,186			
資産減耗費	45,213			
(2) 医業外費用	803,554			
(うち支払利息)	67,122	0.4	1.0	0.9
(3) 特別損失	129,928			
損益	899,370			
純損益	932,923			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.6		103.3	102.8
医業収支比率	85.5		85.5	90.3
修正医業収支比率	84.1		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.7		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	98.6		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,949,753
1 固定資産	44,220,585
(1) 有形固定資産	42,834,248
(2) 無形固定資産	27,440
(3) 投資その他の資産	1,358,897
2 流動資産	34,729,168
(1) 現金及び預金	19,332,004
(2) 未収金及び未収収益	15,438,000
(3) 貸倒引当金( )	883,444
(4) 貯蔵品	826,541
3 繰延資産	-
負債合計	66,804,852
1 固定負債	39,175,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,012,208
(2) その他の企業債	822,950
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,000,000
(6) 引当金	7,308,651
(7) 一ス債務	31,782
2 流動負債	11,397,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,019,840
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,762,824
(6) リ一ス債務	44,999
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,153,131
(9) 前受金及び前受収益	926
3 繰延収益	16,232,179
(1) 長期前受金	51,697,326
(2) 長期前受金収益化累計額( )	35,465,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	12,144,901
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	10,266,316
(1) 資本剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	3,896,394
負債・資本合計	78,949,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,167,514	1,167,514
資本勘定繰入	425,115	425,115
計	1,592,629	1,592,629

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 南部医療センター・こども医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,714 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	50	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	423	83.7	82.2	80.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	5	61.0	59.6	64.5
感染症	6	-	-	-
計	434	82.3	80.8	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.1	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	912,192,057	
標準財政規模(千円)	404,706,530	
財政力指数	0.35962	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	25.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,604,119			
1 経常収益	21,488,637			
(1) 医業収益	15,760,475			
(うち修正医業収益)	15,509,040			
入院収益	12,156,346			
外来収益	3,226,452			
診療収入計	15,382,798			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	377,677			
(うち他会計負担金)	251,435			
(2) 医業外収益	5,728,162			
(うち国・都道府県補助金)	3,456,017			
(うち他会計補助・負担金)	1,183,990			
(うち長期前受金戻入)	695,956			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	115,482			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,747,349			
2 経常費用	19,695,198			
(1) 医業費用	18,750,404			
職員給与費	10,665,114	67.7	59.4	57.2
材料費	4,122,868	26.2	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,697,524	10.8	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,421,485	15.4	11.8	12.7
減価償却費	1,049,251	6.7	8.7	8.0
経費	2,829,300	18.0	22.1	19.0
(うち委託料)	1,371,921	8.7	11.7	10.0
研究研修費	52,438			
資産減耗費	31,433			
(2) 医業外費用	944,794			
(うち支払利息)	171,834	1.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	52,151			
損益	1,793,439			
純損益	1,856,770			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.1		103.3	103.2
医業収支比率	84.1		85.5	88.6
修正医業収支比率	82.7		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	6.6		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	101.8		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,949,753
1 固定資産	44,220,585
(1) 有形固定資産	42,834,248
(2) 無形固定資産	27,440
(3) 投資その他の資産	1,358,897
2 流動資産	34,729,168
(1) 現金及び預金	19,332,004
(2) 未収金及び未収収益	15,438,000
(3) 貸倒引当金( )	883,444
(4) 貯蔵品	826,541
3 繰延資産	-
負債合計	66,804,852
1 固定負債	39,175,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,012,208
(2) その他の企業債	822,950
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,000,000
(6) 引当金	7,308,651
(7) 一ス債務	31,782
2 流動負債	11,397,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,019,840
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,762,824
(6) リ一ス債務	44,999
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,153,131
(9) 前受金及び前受収益	926
3 繰延収益	16,232,179
(1) 長期前受金	51,697,326
(2) 長期前受金収益化累計額( )	35,465,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	12,144,901
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	10,266,316
(1) 資本剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	3,896,394
負債・資本合計	78,949,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,435,425	1,435,425
資本勘定繰入	839,161	839,161
計	2,274,586	2,274,586

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 宮古病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,410 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨感へ災地		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	226	66.9	61.2	66.6
療養	-	-	-	-
結核	3	4.7	-	10.5
精神	45	82.9	79.0	77.4
感染症	3	191.1	-	-
計	277	70.2	62.8	67.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	10.5	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	912,192,057	
標準財政規模(千円)	404,706,530	
財政力指数	0.35962	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	25.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,099,465			
1 経常収益	8,057,007			
(1) 医業収益	5,416,162			
(うち修正医業収益)	5,281,093			
入院収益	3,562,412			
外来収益	1,636,075			
診療収入計	5,198,487			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	217,675			
(うち他会計負担金)	135,069			
(2) 医業外収益	2,640,845			
(うち国・都道府県補助金)	1,408,384			
(うち他会計補助・負担金)	670,636			
(うち長期前受金戻入)	390,141			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	42,458			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,911,850			
2 経常費用	7,892,035			
(1) 医業費用	7,461,369			
職員給与費	4,105,306	75.8	59.4	63.7
材料費	1,322,955	24.4	26.1	21.0
(うち薬品費)	686,101	12.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	636,159	11.7	11.8	10.1
減価償却費	580,128	10.7	8.7	9.7
経費	1,414,561	26.1	22.1	28.9
(うち委託料)	867,213	16.0	11.7	13.6
研究研修費	21,552			
資産減耗費	16,867			
(2) 医業外費用	430,666			
(うち支払利息)	55,307	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	19,815			
経常損益	164,972			
純損益	187,615			
累積欠損金	6,266,308			
経常収支比率	102.1		103.3	101.8
医業収支比率	72.6		85.5	80.8
修正医業収支比率	70.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.9		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	9.9		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	91.9		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,949,753
1 固定資産	44,220,585
(1) 有形固定資産	42,834,248
(2) 無形固定資産	27,440
(3) 投資その他の資産	1,358,897
2 流動資産	34,729,168
(1) 現金及び預金	19,332,004
(2) 未収金及び未収収益	15,438,000
(3) 貸倒引当金( )	883,444
(4) 貯蔵品	826,541
(5) 繰延資産	-
負債合計	66,804,852
1 固定負債	39,175,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,012,208
(2) その他の企業債	822,950
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,000,000
(6) 引当金	7,308,651
(7) 一ス債務	31,782
2 流動負債	11,397,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,019,840
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,762,824
(6) リ一ス債務	44,999
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,153,131
(9) 前受金及び前受収益	926
3 繰延収益	16,232,179
(1) 長期前受金	51,697,326
(2) 長期前受金収益化累計額( )	35,465,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	12,144,901
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	10,266,316
(1) 資本金剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	3,896,394
負債・資本合計	78,949,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	805,705	805,705
資本勘定繰入	264,798	264,798
計	1,070,503	1,070,503

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 八重山病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,480 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	255	64.7	59.1	62.3
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	38	38.0	44.7	51.7
感染症	3	-	-	-
計	302	59.5	55.5	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	10.5	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	912,192,057	
標準財政規模(千円)	404,706,530	
財政力指数	0.35962	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	25.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,746,623			
1 経常収益	7,679,831			
(1) 医業収益	5,440,492			
(うち修正医業収益)	5,305,423			
入院収益	3,471,364			
外来収益	1,658,117			
診療収入計	5,129,481			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	311,011			
(うち他会計負担金)	135,069			
(2) 医業外収益	2,239,339			
(うち国・都道府県補助金)	861,476			
(うち他会計補助・負担金)	694,314			
(うち長期前受金戻入)	564,423			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	66,792			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,039,950			
2 経常費用	7,970,151			
(1) 医業費用	7,594,677			
職員給与費	4,094,476	75.3	59.4	59.0
材料費	1,170,670	21.5	26.1	25.6
(うち薬品費)	589,597	10.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	580,057	10.7	11.8	11.2
減価償却費	860,708	15.8	8.7	8.6
経費	1,410,427	25.9	22.1	21.3
(うち委託料)	870,653	16.0	11.7	11.6
研究研修費	27,762			
資産減耗費	30,634			
(2) 医業外費用	375,474			
(うち支払利息)	69,269	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	69,799			
損益	経常損益	-290,320		
	純損益	-293,327		
累積欠損金	2,496,735			
経常収支比率	96.4		103.3	104.8
医業収支比率	71.6		85.5	87.0
修正医業収支比率	69.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	10.7		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	86.0		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,949,753
1 固定資産	44,220,585
(1) 有形固定資産	42,834,248
(2) 無形固定資産	27,440
(3) 投資その他の資産	1,358,897
2 流動資産	34,729,168
(1) 現金及び預金	19,332,004
(2) 未収金及び未収収益	15,438,000
(3) 貸倒引当金( )	883,444
(4) 貯蔵品	826,541
3 繰延資産	-
負債合計	66,804,852
1 固定負債	39,175,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,012,208
(2) その他の企業債	822,950
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,000,000
(6) 引当金	7,308,651
(7) 一ス債務	31,782
2 流動負債	11,397,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,019,840
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,762,824
(6) リ一ス債務	44,999
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,153,131
(9) 前受金及び前受収益	926
3 繰延収益	16,232,179
(1) 長期前受金	51,697,326
(2) 長期前受金収益化累計額( )	35,465,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	12,144,901
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	10,266,316
(1) 資本剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	3,896,394
負債・資本合計	78,949,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	826,299	829,383
資本勘定繰入	327,690	327,690
計	1,153,989	1,157,073

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			沖縄県
市町村・組合名			
病院名	精和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,269 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	5	指定病院の状況	臨感
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	0.8
精神	246	47.4	46.7	54.3
感染症	-	-	-	-
計	250	46.7	46.0	53.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	912,192,057	
標準財政規模(千円)	404,706,530	
財政力指数	0.35962	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	25.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,613,237			
1 経常収益	2,598,373			
(1) 医業収益	1,147,419			
(うち修正医業収益)	1,147,419			
入院収益	800,619			
外来収益	334,375			
診療収入計	1,134,994			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	12,425			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,450,954			
(うち国・都道府県補助金)	694,875			
(うち他会計補助・負担金)	646,330			
(うち長期前受金戻入)	67,342			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,864			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,463,363			
2 経常費用	2,460,307			
(1) 医業費用	2,397,081			
職員給与費	1,724,259	150.3	59.4	105.1
材料費	231,702	20.2	26.1	9.8
(うち薬品費)	167,212	14.6	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,829	1.8	11.8	1.6
減価償却費	98,745	8.6	8.7	12.8
経費	334,698	29.2	22.1	35.3
(うち委託料)	167,706	14.6	11.7	17.0
研究研修費	6,675			
資産減耗費	1,002			
(2) 医業外費用	63,226			
(うち支払利息)	3,445	0.3	1.0	2.4
(3) 特別損失	3,056			
損益	138,066			
純損益	149,874			
累積欠損金	1,457,342			
経常収支比率	105.6		103.3	101.8
医業収支比率	47.9		85.5	61.1
修正医業収支比率	47.9		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	24.9		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	56.3		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	24.7		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	79.3		91.9	68.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,949,753
1 固定資産	44,220,585
(1) 有形固定資産	42,834,248
(2) 無形固定資産	27,440
(3) 投資その他の資産	1,358,897
2 流動資産	34,729,168
(1) 現金及び預金	19,332,004
(2) 未収金及び未収収益	15,438,000
(3) 貸倒引当金( )	883,444
(4) 貯蔵品	826,541
3 繰延資産	-
負債合計	66,804,852
1 固定負債	39,175,591
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,012,208
(2) その他の企業債	822,950
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,000,000
(6) 引当金	7,308,651
(7) 一ス債務	31,782
2 流動負債	11,397,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,019,840
(2) その他の企業債	106,590
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,762,824
(6) リ一ス債務	44,999
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,153,131
(9) 前受金及び前受収益	926
3 繰延収益	16,232,179
(1) 長期前受金	51,697,326
(2) 長期前受金収益化累計額( )	35,465,147
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	12,144,901
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	10,266,316
(1) 資本剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	3,896,394
負債・資本合計	78,949,753
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	646,330	646,330
資本勘定繰入	31,639	31,639
計	677,969	677,969

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名		沖縄県離島医療組合			
病院名		久米島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,481 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	47.4	47.7	55.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	47.4	47.7	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.9	12.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	307,160			
1 経常収益	307,160			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	307,160			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	248,122			
(うち長期前受金戻入)	59,038			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	329,575			
2 経常費用	329,575			
(1) 医業費用	317,568			
職員給与費	20,090	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	82,812	-	8.7	12.7
経費	213,906	-	22.1	45.1
(うち委託料)	2,035	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	760			
(2) 医業外費用	12,007			
(うち支払利息)	11,234	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	93.2		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	80.8		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	80.8		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	17.9		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,345,488
1 固定資産	1,253,990
(1) 有形固定資産	1,253,210
(2) 無形固定資産	780
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	91,498
(1) 現金及び預金	90,998
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,635,094
1 固定負債	617,821
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	612,590
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,231
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	130,258
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	129,068
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	887,015
(1) 長期前受金	946,053
(2) 長期前受金収益化累計額( )	59,038
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-289,606
1 資本金	14,139
2 剰余金	-303,745
(1) 資本金剰余金	193,873
(2) 利益剰余金	-497,618
負債・資本合計	1,345,488
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	289,606
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	244,378	248,122
資本勘定繰入	68,823	119,441
計	313,201	367,563

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。